

## 止まり木



## 始まりの時



4月5日、43期生の入学式を挙行了しました。真新しい標準服を身にまとい

新たな希望に胸を膨らませて入学してきた新入生のみなさん、改めて本当におめでとうございます。

また、今日は始業式を行い、いよいよ本格的に横堤中学校の1年が始まりました。先輩たちとともに中学校でしかできない様々なことに挑戦していきましょう。以下に入学式で校長先生が皆さんに贈った式辞を紹介します。2, 3年生の皆さんもぜひ、読んでください。

## 式 辞

横堤中学校第43期生、90名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

また保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、本当におめでとうございます。

さて、皆さんは小学校六年間の最も大切な最後の2年間を新型コロナウイルス感染症の流行により、友達と会えない寂しさや先が見えない不安と共に過ごしてきたことと思います。8今もなお安心できない日々が続きますが、どうか安心してください。横堤中学校の教職員はどんな状況になっても皆さんを温かく包み、支えてくれます。一緒に頑張っていきましょう。

さて、本校の校歌の一番には「自主の光に輝かん」、二番には「広き心を育まん」、三番には「耐ゆる心を養わん」という言葉があります。これらの言葉が本校の校訓の「自主・協同・忍耐」の由来になっています。本校の校訓をもとに、新入生の皆さんに心がけてほしいことを三つお話しします。

最初の「**自主**」とは「自ら考えて行動すること」です。自ら考えるためには、しっかりと学ばなければなりません。学校での学びの中心は授業です。本校には「横堤中学校 生徒10カ条」があります。その第一条に「授業を大切にするとあります。毎日の授業を通して、多くのことを吸収し、自ら学ぶ力や考える力を養ってほしいと思います。

二つ目の「**協同**」は、「心と力を合わせて助け合うこと」です。生徒10カ条の第2条には「仲間と共に喜び感動し、共感できる」とあります。学校は集団生活の場です。相手の立場に立ち、仲間とともに「認め合い、高めあう集団」をつくっていきましょう。横堤中学校では、学校行事などで、クラスで力を合わせて取り組む活動が数多くあります。仲間とともに助け合いながら、ともに喜びや感動を分かち合ってほしいと願っています。

最後の「**忍耐**」とは、「決してあきらめず、最後までやりぬく」ことです。最初は辛抱であっても、努力して続けることによって、習慣になります。毎日の勉強やスポーツ、芸術活動、読書も続けることで、大きな成果が得られます。何事も辛抱強く、一生懸命に取り組む習慣を養っていきましょう。

みなさんの前に、「咲」の花文字が掲げられています。これは新2年生が、みなさんのご入学のお祝いに、制作したものです。これから始まる中学校生活で、みなさん自身の夢を育て、大きく咲かせてください。最後になりますが、今、私は校長として1つの夢があります。それは「**止まり木のような学校を創る**」という夢です。止まり木とは飛ぶことに疲れた鳥たちが木に止り、羽を休め、また元気に飛び立っていく。そんな木のことです。苦しいことや悩み事があっても横堤中学校に行けば元気になる。教職員の顔を見たら安心できる。だからまた明日から頑張ろうという気持ちになれる、そんなあったかな学校を創りたいと思います。どうか皆さんの力を貸してください。一緒に毎日、楽しく過ごせる学校を創っていきましょう。では新入生のみなさん、『人生に夢を求めるのではない。夢が人生を創るのだ』という言葉を送り、私の歓迎の言葉とします。

令和4年4月5日

大阪市立横堤中学校 校長 田中 城明